



平成 26 年 5 月 9 日

各 位

会 社 名 株式会社 富 山 銀 行
代 表 者 名 取 締 役 頭 取 齊 藤 栄 吉
(コード番号 8365 名 証 第 2 部)
問 合 せ 先 取 締 役 経 営 企 画 室 長 兼 総 合 企 画 部 長
森 永 利 宏
(T E L 0 7 6 6 - 2 1 - 3 5 3 5)

「第 5 次中期経営計画」の策定に関するお知らせ

富山銀行（頭取 齊藤栄吉）では、平成 26 年 4 月から平成 31 年 3 月までの 5 年間の計画期間とする「第 5 次中期経営計画」を策定いたしましたので、概要を下記のとおりお知らせいたします。

1.名称

「富山銀行 **i**プロジェクト “The Next” 」 — もっと夢、もっと富山 —

2.計画期間

平成 26 年 4 月～平成 31 年 3 月（5 年間）

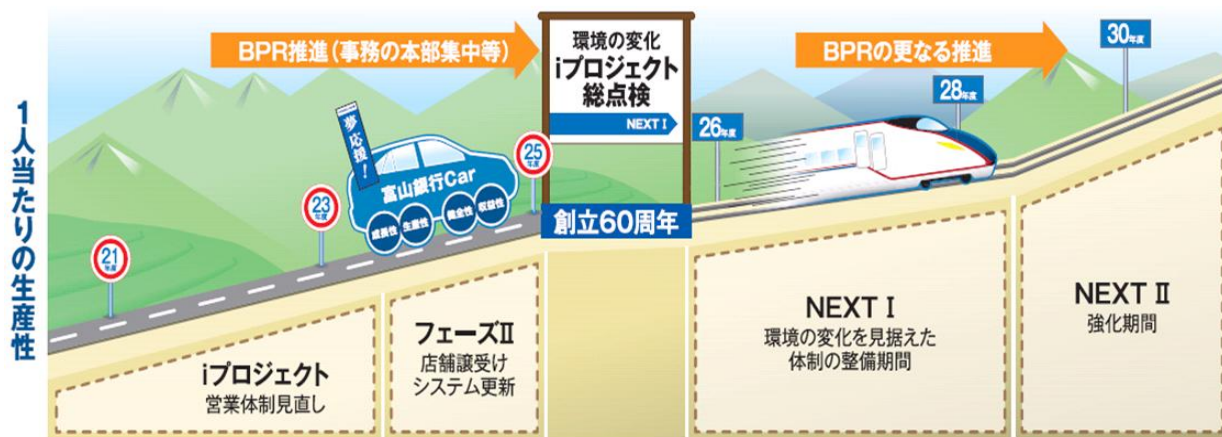
3.目指す銀行像（5 年後のあるべき姿）

当行は、平成 24 年 4 月から 3 年間の中期経営計画（「富山銀行 **i** プロジェクト」フェーズⅡ）に基づき、新基幹系システムの導入、金沢信用金庫から 3 店舗譲受け実現、BPR の推進、創立 60 周年へ向けた取組みの実施など生産性の向上・業容の拡大等に努めてまいりました。

一方、取りまく環境は、少子高齢化の進展や人口動向の変化、それに伴う金融資産の移動・事業所の減少等により、競争が激化し、今後ますます厳しくなることが予想されます。

このような環境下、当行は、平成 26 年 2 月に創立 60 周年を迎えたこの機に、新たな中期経営計画を策定し、来るべき構造変化に対応するため、3 つの **i** を実現できる地域金融機関を目指して参ります。

第 5 次中期経営計画のイメージ図



3つの「i」の実現を目指します。

- 「愛（あい）」＝郷土愛
―郷土愛に満ち、皆さまの「夢」の実現に向けて応援する銀行
- 「I（アイ）」＝Innovation
―常に Innovation（革新）を行い、時代のニーズに対応する銀行
- 「1（ワン）」＝Only 1
―個性（Identity）を尊重し、オーダーメイド型サービスを提供する銀行

4. ミッション（地域に対する当行が自らに課している使命）

① 夢応援銀行

―地域の皆さまの「夢」の実現に向け、真摯な姿勢で応援します。

② 地域深耕、種蒔き

―ふるさと富山と共存共栄を図り、地域と一体となって課題を解決し、将来の発展の礎となる種を蒔きます。

③ 内外進取

―地域経済と北陸・首都圏・アジアとの橋渡し役として、自ら進んで変化に挑戦します。

5. 行動指針（当行のブランドイメージを確立します）

- ― もっと夢、もっと富山 ―
- ― もっと富山銀行 ―

BOT(Bank of Toyama)ブランドの確立

6. 基本方針と全社戦略

① 今後想定される構造変化に順応した営業力の強化を図ります。（顧客戦略）

- ― リテール営業の強化
- ― ソリューション営業の強化
- ― 地域密着型金融のさらなる推進
- ― 市場運用力の強化

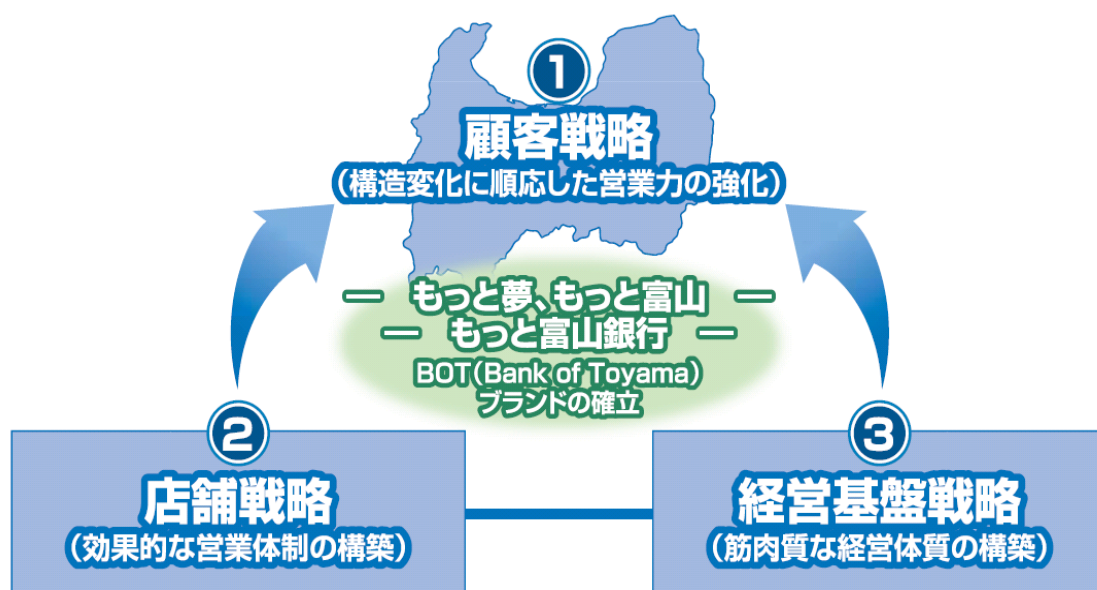
② 店舗ネットワークの最適化を図り、効果的な営業体制を構築します。（店舗戦略）

- ― 店質の明確化、店舗人員・フォーメーションの最適化
- ― ITの積極活用
- ― 本店リニューアル・新本部棟の建設
- ― 県外拠点の検討

③ 人財育成、BPRの強化を図り、筋肉質な経営体質を構築します。（経営基盤戦略）

- ― 人財育成の強化
- ― BPRのさらなる推進
- ― 経営管理態勢の強化
- ― 株式価値の向上

全社戦略のイメージ図



7. 数値目標

①安定した収益力・財務基盤の確保

	25 年度	26 年度～30 年度
コア業務純益	13 億円	12 億円以上
コア資本比率 (連結)	10%	10%以上

②生産性の一段の向上

	25 年度	30 年度
預貸総和/1 人当たり	14 億円	16 億円以上

以上

本件に関するお問い合わせ先
 富山銀行 総合企画部 (織田・寛)
 TEL 0766-21-3535